

保育理念：お告げのマリア修道会を母体とする小百合園保育所は「互いに愛し合いなさい」とのカトリックの愛のところで児童福祉法に基づき保育を必要とする乳幼児の保育を行う。保育にあたっては子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の幸福をのために保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に推進し、地域における家族援助を行う。

保育目標： ★神様と人とを大切に子ども ★心も体も元気な子ども ★自分で考え、選び、行動する子ども

保育方針：カトリックの園として、あたたかい関わり合いの中で一人ひとりを大切にします。

★神さまの存在に気づき、祈りと感謝の心を育む★子ども一人ひとりのありのままを受けとめる★子どもの主体性を尊重する。

保育環境：★あたたかい雰囲気の中でくつろぎ、生き生きと安心安全に過ごせる環境 ★子どもが興味や関心をもって自ら遊びや活動ができる環境
★子ども同士また周囲の大人との関わりの中でコミュニケーション力が身につく環境 ★自然を通してのいのちの尊さを感じられる環境

保育の方法： ①「よし」として造られた神さまのまなざしで一人ひとりを大切にします。 ②子どもの遊びが豊かに展開されるよう時間や環境に配慮します。 ③子どもの不安や迷いに寄り添い、失敗や挫折は学びのチャンスと受けとめて関わります。 ④子どもの「声」や「つぶやき」を大切に、応答的に関わります。 ⑤異年齢児の関わり合いを大切にします。 ⑥子どもが季節の移り変わりに気づき、身近な自然に触れ、感じる事が出来るように配慮します。 ⑦子どもと保護者の文化や背景の違いを理解し丁寧に関わります。 ⑧職員同士がすべての子どもの育ちを見守り、肯定的に語り合いを通して、共に成長します。 ⑨職員は保育の質の向上のために、積極的に学び続けます。

A…実施されている B…実施されているが不十分である C…実施できていない

項目	内 容	評価	理由 (B、Cの場合)
保 育 目 標	1.保育理念、保育目標を職員・保護者に周知するために提示している。	A	
	2.保育理念、保育目標を全員が共通理解している。	A	
園 運 営	1.園長・職員の業務分担を明確にしている。	A	
	2.職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	A	
保 育 内 容	1.保育所保育指針に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画(献立)を作成(実践)している。	A	
	2.保育計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	A	
	3.消防計画を作成し、毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制を整えている。	A	
	4.行事のねらいを明確にし、年齢に応じた発達と主体性を育てるようにしている。	A	
	5.同年齢児及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	A	
	6.保育の内容について保護者の理解が得られるように努めている。	A	
安 全 ・ 環 境	1.園内外の安全点検を定期的に行っている。	A	
	2.緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	A	
	3.消防計画を作成し、毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制を整えている。	A	
	4.衛生面に配慮している。	A	
	5.安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	A	

A…実施されている B…実施されているが不十分である C…実施できていない

項目	内 容	評価	理由 (B、Cの場合)
健康管理	1.健康診断を定期的実施し、結果を保護者に伝えている	A	マニュアルはあるが、職員同士がもっと積極的に学びあう機会を作っていくようにする
	2.感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている。	B	
	3.玩具や遊具等は常に衛生的に保持されている。	A	
給食	1.食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	A	給食会議などを通して食育に努めていく
	2.旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A	
	3.食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	A	
保護者対応	1.保護者への対応は丁寧に行い、不安や不信感を感じさせないように努めている。	A	いつでも相談できるようにさらに努めていきます。
	2.苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	A	
	3.個別面談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	A	
守秘義務	1.園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	
	2.園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	A	
地域わりのか	1.地域の行事に参加したり協力したりしている。	B	・小学校との交流会復帰 ・自治会による敬老会が再開していない
	2.高齢者や、小中学校等との交流をしている。	B	

理念を念頭にしてよりよい保育・やりがいのある職場を構築するための改善策

- ★ 個人記録の勉強会を続ける。
- ★ 行事の見直しは続けて行う。
- ★ 防災マニュアル作成したので、員同士確認しあい事故、災害防止に努めていく。。
- ★ 法人内の職員交流会続行し職員間の親睦と質を高めていく。

